

計画の名称	日本平における観光レクリエーション機能強化による地域活性化（第3期）																	
計画の期間	令和2年度 ～ 令和6年度（5年間）					交付対象		静岡市										
計画の目標																		
日本平は富士山と駿河湾の美しい眺望が楽しめる有数の景勝地として知られているが、日本平山頂地域の観光客数はピーク時の280（万人/年）と比して著しく減少している。 このような中、豊かな自然を活かしつつ観光レクリエーション施設を整備し観光拠点を再生することは、観光都市を標榜する静岡市の急務であり、第3次静岡市総合計画、静岡市都市計画マスタープラン等において日本平公園の整備を位置付け、整備計画を作成し事業の進捗を図っているところである。そこで、公園事業により観光レクリエーション機能を更新・強化し、観光都市静岡の実現を目指したい。																		
計画の成果目標（定量的指標）																		
日本平山頂地域の観光客数を1,890千人/年（R2当初）から2,200千人/年（R6末）に増加																		
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値				備考					
				当初現況値 (R2当初)		中間目標値 (R3末)		最終目標値 (R6末)										
① 日本平山頂地域の観光客数 (観光客数の増加率) = (評価時点の年間観光客数 - R2当初の年間観光客数) / (R2当初の年間観光客数) × 100 (%)				1,890千人/年		—		2,200千人/年										
全体事業費		合計 (A+B+C)		2,420百万円		A	2,150百万円		B	120百万円		C	150百万円		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		6.19%	
事後評価（中間評価）																		
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																		
事後評価の実施体制										事後評価（中間評価）の実施時期								
										令和6年度								
市内部（事業関係課による横断的な検討体制）において評価を実施した後、学識経験者等の第三者で構成される静岡市公共事業評価委員会による審査を実施する。										公表の方法								
										委員会での審議結果等を市のホームページに掲載する。								
1. 交付対象事業の進捗状況																		
交付対象事業																		
A1 基幹事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
A12-001	公園	一般	静岡市	直接	静岡市	—	—	都市公園事業（日本平公園）	園路広場整備（17.8ha）	静岡市	R2	R3	R4	R5	R6	1,266		
A12-002	公園	一般	静岡市	直接	静岡市	—	—	電線地中化事業	電線地中化事業（L=800m）	静岡市						200		
A12-003	公園	一般	静岡市	直接	静岡市	—	—	水道施設設置事業	日本平公園に伴う水道施設の設置	静岡市						684		
小計（基幹事業）																2,150		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
B01-001	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	修繕	市道清水日本平線外舗装修繕事業	舗装修繕（L=178m）	静岡市	R2	R3	R4	R5	R6	40			
B01-002	道路	一般	静岡市	直接	静岡市	改築	市道池田日本平線整備事業	道路整備（L=150m）	静岡市						80			
合計																120		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
B01-001	日本平公園へのアクセスルートへの舗装修繕を実施することで、観光バス・乗用車等で訪れる方の安全性・走行性・快適性の向上を図る。																	
B01-002	A12-001の整備に伴い、取合道路として一体的に整備することで走行性を改善し、来園者の安全性・快適性向上を図る。																	
C 効果促進事業																		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
C-12-001	公園	一般	静岡市	直接	静岡市	—	水道施設設置事業	日本平公園に伴う水道施設の設置	静岡市	R2	R3	R4	R5	R6	150			
合計																150		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
C-12-001	日本平公園整備に伴い新たに必要となる水を園内に供給することが可能となり、公園利用者の利便性向上が期待できる。																	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・計画を開始したH22年度以降、日本平公園の基盤整備を始めとする各要素事業が相互に効果を発現したことや、富士山文化遺産登録及び三保松原構成資産登録、日本平動物園のグランドオープン等により観光客数は順調に増加し続けていたが平成25年をピークに一時観光客数が減少傾向であった。しかし、平成30年度の静岡県と連携した展望施設「日本平夢テラス」の完成により、開業からの1年間では最終目標値を上回る2,218千人/年の観光客が訪れた。第3期計画では、ロープウェイ駅舎と日本平夢テラスをつなぐ園路整備等を行い相乗効果を図った。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標① (日本平山頂地域の観光客数)	最終目標値	2,200千人/年 (R6末)	目標値と実績値に差が出た要因	主な要因としては、新型コロナウイルスの流行による行動制限等の影響が考えられる。また、シンボル施設の建築ではなく、インフラ整備（アクセス道路、水道施設）中心の整備計画期間であったことも影響されると思われる。 今後の対策としては、基本計画改定に伴う時代に即した整備を行っていき、観光拠点として来訪者の増加を図る。
		最終実績値	1,648千人/年 (R6末)		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		・観光地として眺望を楽しむ公園に加え山頂エリアの整備が行われたことで市民利用の活用が図られた。また、整備の進捗に伴い民会投資が活発化した。 ・清水港の寄港客船のランドツアーの目的地として設定されることが多く、市内の観光客増加に寄与している。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
・日本平公園は静岡市総合計画において重点プロジェクトと位置づけており、事業への注目度が高いことから、本市のシンボル公園として整備を継続していく。 ・本公園は、県立自然公園でもあることから、静岡県と連携し、駐車場やアクセス道路の整備等観光拠点として来訪者の受入環境を整え、さらなる観光客増加を目指す。 ・日本平公園事業を中心に、日本平公園整備事業に伴う水道施設設置等を実施する事によって各事業が相互に効果を発現し、日本平地域の活性化に寄与することが期待されるため、次期計画で事業を推進していく。 ・令和6・7年度に基本計画の改定を行い、時代に即した「風景美術館＝日本平」をテーマに、富士山と三保松原の絶景の感動体験を満喫できる展望公園として整備し、観光地域づくり(サステナブルツーリズムの拠点)の実現を図っていく。					